

Title	履歴書：坂上貴之
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学大学院社会学研究科
Publication year	2019
Jtitle	慶應義塾大学大学院社会学研究科紀要：社会学心理学教育学：人間と社会の探究 (Studies in sociology, psychology and education : inquiries into humans and societies). No.87 (2019. ) ,p.145- 174
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	2018年度定年退職者略歴・ 著作目録一覧
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN0006957X-00000087-0145">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN0006957X-00000087-0145</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 履歴書

### 坂上 貴之（さかがみ たかゆき）

#### 学歴

昭和51年3月 慶應義塾大学 文学部 卒業  
 昭和53年3月 慶應義塾大学 社会学研究科 修士 修了  
 昭和59年3月 慶應義塾大学 社会学研究科 博士 単位取得退学  
 昭和63年3月 文学博士（慶應義塾大学）

#### 職歴

昭和53年4月 日本ロシュ研究所 薬理学部 研究員（昭和56年3月まで）  
 昭和56年4月 慶應義塾大学 文学部 大学助手（実験担当）（昭和57年3月まで）  
 昭和57年4月 慶應義塾大学 文学部 大学助手（平成元年3月まで）  
 昭和58年10月 慶應義塾大学 文学部 学生部委員（三田支部）（昭和60年9月まで）  
 平成元年4月 慶應義塾大学 文学部 助教授（平成10年3月まで）  
 平成2年4月 慶應義塾大学 通信教育部 学習指導副主任（平成4年3月まで）  
 平成4年4月 東京女子大学 現代文化学部 兼任講師（平成5年3月まで）  
 平成4年4月 慶應義塾大学 通信教育部 学習指導副主任（平成6年3月まで）  
 平成4年9月 立教大学 文学部 兼任講師（平成5年8月まで）  
 平成5年10月 慶應義塾大学 文学部 学習指導主任（平成7年9月まで）  
 平成6年4月 早稲田大学 教育学部 兼任講師（平成7年3月まで）  
 平成7年4月 東京大学 文学部 兼任講師（平成7年9月まで）  
 平成7年9月 早稲田大学 第1文学部 兼任講師（平成8年3月まで）  
 平成9年4月 東京大学 教養学部 兼任講師（平成9年7月まで）  
 平成9年9月 京都大学 文学部 兼任講師（集中講義）（平成9年9月まで）  
 平成10年4月 千葉大学 文学部 兼任講師（平成10年7月まで）  
 平成10年4月 慶應義塾大学 文学部 大学教授（現在に至る）  
 平成11年4月 慶應義塾大学 大学院社会学研究科 委員（現在に至る）  
 平成11年10月 慶應義塾大学 大学院社会学研究科 委員長補佐（平成13年9月まで）  
 平成13年7月 慶應義塾大学 文学部 日吉主任（平成13年9月まで）  
 平成13年10月 慶應義塾大学 文学部 日吉主任（平成19年9月まで）  
 平成14年4月 桜美林大学 大学院 兼任講師（平成14年7月まで）  
 平成15年4月 桜美林大学 大学院 兼任講師（平成15年7月まで）

平成 15 年 8 月	大阪市立大学 文学部・大学院文学研究科 兼任講師（集中講義）（平成 15 年 8 月まで）
平成 16 年 4 月	上智大学 文学部 兼任講師（平成 16 年 9 月まで）
平成 16 年 6 月	桜美林大学 大学院 兼任講師（平成 16 年 7 月まで）
平成 18 年 4 月	東京大学 文学部 兼任講師（平成 18 年 9 月まで）
平成 20 年 4 月	首都大学東京 人文学部 兼任講師（平成 20 年 9 月まで）
平成 22 年 10 月	首都大学東京 人文学部 兼任講師（平成 23 年 3 月まで）
平成 23 年 10 月	慶應義塾大学 大学院社会学研究科 委員長補佐（平成 25 年 9 月まで）
平成 24 年 4 月	東京大学 文学部 兼任講師（平成 24 年 9 月まで）
平成 24 年 9 月	早稲田大学 大学院 兼任講師（平成 25 年 3 月まで）
平成 24 年 11 月	慶應義塾大学 文学部 評議員（平成 31 年 3 月まで）
平成 25 年 8 月	東北大学 文学部・大学院文学研究科 兼任講師（集中講義）（平成 25 年 8 月まで）
平成 27 年 7 月	九州大学 文学部・大学院人間環境学府 兼任講師（集中講義）（平成 27 年 7 月まで）
平成 27 年 10 月	慶應義塾大学 大学院社会学研究科 委員長（平成 29 年 9 月まで）

## 学会及び社会における活動等

現在所属している学会	Association for Behavior Analysis International, 日本基礎心理学会, 日本看護科学学会, 日本心理学会, 日本行動分析学会
昭和 51 年～現在	日本心理学会 会員
昭和 56 年～昭和 57 年	Association for Behavior Analysis 会員
昭和 56 年～現在	日本行動分析学会 会員
昭和 56 年～現在	日本基礎心理学会 会員
昭和 59 年～昭和 60 年	日本私立大学連盟学生補導委員会第 3 分科会 民間機関
昭和 59 年～昭和 60 年	日本私立大学連盟学生補導委員会第 3 分科会 民間機関 委員
昭和 60 年～昭和 61 年	日本私立大学連盟学生部会第 3 分科会 民間機関
昭和 60 年～昭和 61 年	日本私立大学連盟学生部会第 3 分科会 民間機関 委員
昭和 63 年～現在	Association for Behavior Analysis 会員
平成元年～平成 2 年	日本私立大学連盟学生部会第 1 分科会 民間機関
平成元年～平成 2 年	日本私立大学連盟学生部会第 1 分科会 民間機関 委員
平成 2 年～平成 4 年	日本私立大学連盟学生部会第 1 分科会 民間機関 委員
平成 2 年～平成 4 年	日本私立大学連盟学生部会第 1 分科会 民間機関
平成 7 年～平成 9 年	日本私立大学連盟就職問題研究分科会 民間機関 委員
平成 7 年～平成 9 年	日本私立大学連盟就職問題研究分科会 民間機関
平成 8 年～平成 11 年	日本基礎心理学会 常任運営委員
平成 10 年～平成 15 年	日本心理学会 情報化委員会 委員
平成 11 年～現在	日本行動分析学会 常任理事
平成 11 年～現在	日本基礎心理学会 常務理事

平成13年10月～平成17年9月	日本心理学会 「心理学ワールド」編集委員会 委員
平成17年4月～平成19年3月	日本心理学会 優秀論文賞選考委員会委員
平成19年11月～平成23年10月	日本心理学会 編集委員会委員
平成23年4月～平成25年3月	日本心理学会 優秀論文賞選考委員会 委員長
平成23年11月～平成25年10月	日本心理学会 投稿基準に関する小委員会 委員長
平成23年12月～平成29年12月	日本基礎心理学会 理事長
平成25年4月～現在	日本看護科学学会 会員
平成27年6月～現在	日本行動分析学会 理事長
平成29年6月～現在	日本心理学会 常任理事

## 賞罰

平成24年3月 日本行動分析学会2012年度論文賞

## 現在の職務の状況

慶應義塾大学 教授 文学部人文社会学科心理学専攻

## 業績リスト

## (著書)

1. 強化の理論と行動経済学 分担執筆 平成元年6月 培風館 担当範囲: 小川隆 (監修)「行動心理ハンドブック」Pp. 82-93. 坂上貴之
2. 学生経済援助の種類と内容 分担執筆 平成3年12月 開成出版 担当範囲: 社団法人日本私立大学連盟学生部会 (編)「新・奨学制度論—日本の高等教育発展のために—」Pp. 29-85. 坂上貴之
3. 採餌・食事・摂食—実験的行動分析の視点から— 分担執筆 平成8年9月 朝倉書店 担当範囲: 中島義明・今田純雄 (編)「人間行動学講座2たべる—食行動の心理学—」Pp. 146-165. 坂上貴之
4. メイザーの学習と行動 共訳 平成8年12月 二瓶社 担当範囲: 421 pp 磯博行・坂上貴之・川合伸幸
5. 心理学辞典 分担執筆 平成11年1月 有斐閣 担当範囲: 坂上貴之は「強化」「強化子」などを執筆 中島義明ら (編)
6. 行動分析学: ヒトと動物の接点を求めて 分担執筆 平成11年6月 ブレーン出版 担当範囲: 佐藤隆夫編著 「43人が語る「心理学と社会」1 知覚・認知・感情」Pp. 66-90 坂上貴之
7. メイザーの学習と行動 日本語第2版 共訳 平成11年9月 二瓶社 担当範囲: 420 pp 磯博行・坂上貴之・川合伸幸
8. 心理学が描くリスクの世界 共編者 平成14年4月 慶應義塾大学出版会 担当範囲: 253 pp 広田すみれ・増田真也・坂上貴之
9. 悪くはない出発—行動分析的ユートピア 分担執筆 平成14年7月 慶應義塾大学出版会 担当範囲: 坂上貴之・巽孝之・宮坂敬造・坂本光 (編著)「ユートピアの期限」Pp. 375-391. 坂上

## 貴之

10. ユートピアの期限 共編者 平成14年7月 慶應義塾大学出版会 担当範囲: 403 pp 坂上貴之・巽孝之・宮坂敬造・坂本光
11. 強化の見取り図 分担執筆 平成16年12月 誠信書房 担当範囲: 廣中直行(編著)「実験心理学の新しいかたち」Pp. 122-153. 坂上貴之
12. 新・心理学の基礎知識 第4章「学習・行動」 共編者 平成17年1月 有斐閣 担当範囲: 中島義明・繁榊算男・箱田裕司(編)「新・心理学の基礎知識」Pp. 99-131. 坂上貴之・今田純雄
13. 反応増加の幸福と害毒-内発的動機づけ論争と反応遮断化理論 分担執筆 平成17年4月 慶應義塾大学出版会 担当範囲: 巽孝之・宮坂敬造・坂上貴之・岡田光弘・坂本光(編)「幸福の逆説」Pp. 81-109. 坂上貴之
14. 幸福の逆説 共編者 平成17年4月 慶應義塾大学出版会 担当範囲: 383 pp 巽孝之・宮坂敬造・坂上貴之・岡田光弘・坂本光
15. 心理学が描くリスクの世界: 行動的意思決定入門(改訂版) 共編者 平成18年5月 慶應義塾大学出版会 担当範囲: 280 pp 広田すみれ・増田真也・坂上貴之
16. 経済心理学 分担執筆 平成18年6月 朝倉書店 担当範囲: 海保博之・楠見孝(監修)「心理学総合辞典」Pp. 584-591. 坂上貴之
17. 情行為試論—悲しいから泣くのではない。環境事象があるから泣き, 悲しむのである。 分担執筆 平成18年9月 慶應義塾大学出版会 担当範囲: 坂本光・坂上貴之・宮坂敬造・岡田光弘・巽孝之(編)「情の技法」Pp. 101-139. 坂上貴之
18. 情の技法 共編者 平成18年9月 慶應義塾大学出版会 担当範囲: 436 pp 坂本光・坂上貴之・宮坂敬造・岡田光弘・巽孝之
19. 心理学と経済学の交差点 分担執筆 平成19年12月 有斐閣 担当範囲: 子安増生・西村和雄(編)「経済心理学のすすめ」Pp. 15-44. 坂上貴之
20. メイザーの学習と行動 日本語第3版 共訳 平成20年6月 二瓶社 担当範囲: 420 pp 磯博行・坂上貴之・川合伸幸
21. 意思決定以前の選択から考える 分担執筆 平成21年11月 朝倉書店 担当範囲: 坂上貴之(編)「意思決定と経済の心理学」Pp. 189-208. 坂上貴之
22. 意思決定と経済の心理学 編者 平成21年11月 朝倉書店 担当範囲: 213 pp 坂上貴之
23. 行動経済学 分担執筆 平成22年4月 朝倉書店 担当範囲: 海保博之・松原望(監修)「感情と志向の科学事典」Pp. 406-441. 坂上貴之
24. 心理学の実験倫理—「被験者」実験の現状と展望. 共編者 平成22年11月 勁草書房 担当範囲: 264 pp 河原純一郎・坂上貴之
25. 実験実施上の諸問題 分担執筆 平成22年11月 勁草書房 担当範囲: 河原純一郎・坂上貴之(編著)「心理学の実験倫理—「被験者」実験の現状と展望」Pp. 37-75. 坂上貴之
26. ケース・レポートから研究への展望 分担執筆 平成23年1月 メヂカルフレンド社 担当範囲: 高橋百合子(監修)鎌倉やよい・深谷安子(編)「看護学生のためのケース・スタディ第4版」Pp. 239-252. 鎌倉やよい・坂上貴之
27. お金と心理学—経済心理学・行動経済学・実験経済学 分担執筆 平成23年3月 日本心理学会

- 担当範囲：日本心理学会（編）「心理学ワールド：50号刊行記念出版」Pp. 121-126. 坂上貴之
28. ある心理学方法論に見る陥穽と処方箋—「サリーとアンの問題」「裏切り者検知」「不公平嫌悪」をめぐって— 分担執筆 平成23年4月 慶應義塾大学出版会 担当範囲：慶應義塾大学三田哲学会（編）「自省する知—人文・社会科学のアクチュアリティー」Pp. 33-59. 坂上貴之
29. 危険の誘惑 分担執筆 平成23年9月 慶應義塾大学出版会 担当範囲：宮坂敬造・岡田光弘・坂上貴之・坂本光・巽孝之（編著）「リスクの誘惑」Pp. 200-216. 坂上貴之
30. リスクの誘惑 共編者 平成23年9月 慶應義塾大学出版会 担当範囲：306 pp 宮坂敬造・岡田光弘・坂上貴之・坂本光・巽孝之（編著）
31. 行動生物学辞典 共編者 平成25年11月 東京化学同人 担当範囲：637 pp 上田慶介・岡ノ谷一夫・菊水健史・坂上貴之・辻和希・友永雅己・中島定彦・長谷川寿一・松島俊也
32. ギャンブル行動 共訳 平成26年4月 丸善出版 担当範囲：青年期発達百科事典編集委員会（編）「青年期発達百科事典第3巻 精神病理と非定型プロセス」Pp. 88-100.
33. 自分が引いたクジは当たっている—制御幻想実験分担執筆 平成26年4月 勁草書房 担当範囲：西條辰義・清水和己（編著）「実験が切り開く21世紀の社会科学」Pp. 63-72. 坂上貴之
34. 行動経済学の歴史 分担執筆 平成26年9月 誠信書房 担当範囲：下山晴彦（編集代表）「誠信心理学事典（新版）」Pp. 850-852. 坂上貴之
35. 応用行動分析学：体重減量のプログラム 分担執筆 平成29年4月 朝倉書店 担当範囲：今田純雄・和田有史（編）「食行動の科学—「食べる」を読み解く—」Pp. 187-204 藤巻峻・坂上貴之
36. 行動からパフォーマンスを考える：行動分析学 分担執筆 平成29年4月 金剛出版 担当範囲：鹿毛雅治（編）「パフォーマンスがわかる12の理論」Pp. 173-300. 坂上貴之
37. 口腔保健行動におけるセルフ・コントロール 分担執筆 平成29年6月 北大路書房 担当範囲：高橋雅治（編）「セルフ・コントロールの心理学—自己制御の基礎と教育・医療・矯正への応用—」Pp. 200-223. 鎌倉やよい・深田順子・坂上貴之・百瀬由美子
38. もう1つの自己制御—エゴ・セントリックな自己制御からエコ・セントリックな自己制御へ— 分担執筆 平成29年6月 北大路書房 担当範囲：高橋雅治（編）「セルフ・コントロールの心理学：自己制御の基礎と教育・医療・矯正への応用」Pp. 313-331. 坂上貴之
39. ゲームの面白さとは何だろうか. 共著 平成29年9月 慶應義塾大学出版会 大森貴秀・原田隆史・坂上貴之 全95ページ
40. 心理学が描くリスクの世界：行動的意思決定入門（第3版） 共編者 平成30年1月 慶應義塾大学出版会 広田すみれ・増田真也・坂上貴之 全279ページ
41. 行動分析学：行動の科学的理解をめざして 共著 平成30年3月 有斐閣 坂上貴之・井上雅彦 全314ページ
42. 基礎心理学実験法ハンドブック 共編者 平成30年6月 朝倉書店 担当範囲：責任編集者代表 坂上貴之・河原純一郎・木村英司・三浦佳世・行場次朗・石金浩史
43. 選好形成と意思決定 共著 平成30年8月 勁草書房 担当範囲：第2章 行動分析学と意思決定研究（丹野貴行・坂上貴之）、第5章 眼球運動測定装置を用いた意思決定過程分析（森井真広・坂上貴之） 西條辰義（監修）・竹村和久（編著）

44. Diversity of Experimental Methods in Economics 共著 平成31年 Springer Nature Singapore Pte Ltd. 担当範囲: Experiments in Psychology: Current Issues in Irrational Choice Behavior (Pp. 79-115). (Igaki, T., Romanowich, P. & Sakagami, T.) In T. Kawagoe & H. Takizawa (Eds.)

## (論文)

1. Scopolamine model of retrograde amnesia: Its prevention and relevant cerebral nuclei involved 共著 昭和56年7月 Proceedings a Symposium on the Pharmacology of Learning and Memory, Hakone, July 25, 1981 Kubota, A., Hayashi, T., Sakagami, T., Watanabe, A., & Nakamura, K.
2. 新精神賦活剤 Ro13-5057/001 の中枢作用部位の検討 共著 昭和56年11月 精神神経薬理シンポジウム 林哲夫・坂上貴之・渡辺昭彦・中村圭二 7巻1号 pp. 5-13
3. Flunitrazepam の中枢薬理作用 共著 昭和56年 応用薬理 矢島孝・坂上貴之・前田津留美・渡辺昭彦・中村圭二 Vol. 21 pp. 123-142
4. Is simulated foraging similar to natural foraging? Commentary on 'Choice, optimal foraging, and delay-reduction hypothesis' by E. Fantino & N. Abarca 共著 昭和60年6月 Behavioral and Brain Sciences Sato, M., & Sakagami, T. Vol. 8, No2 pp. 346-347
5. 書評: 行動の原理としての均衡の原理. James Allison 著 'Behavioral Economics' 単著 昭和61年3月 行動分析学研究 坂上貴之 1巻1号 pp. 43-49
6. 職務行動分類と有職男性におけるラジオ聴取行動について (上) I. 職業分類と職務行動分類 単著 昭和63年 日経広告研究所報 坂上貴之 122号 pp. 85-106
7. Income maximizing in concurrent interval-ratio schedules 共著 平成元年7月 Journal of the Experimental Analysis of Behavior Sakagami, T., Hursh, S. R., Christensen, J., & Silberberg, A. Vol. 52, No1 pp. 41-46
8. 職務行動分類と有職男性におけるラジオ聴取行動について (下) II. 有職男性のラジオ聴取行動 単著 平成元年 日経広告研究所報 坂上貴之 123号 pp. 83-103
9. ラジオ調査にみる中小規模自営層の構造変化の一断面. 単著 平成2年10月 季刊マーケティングジャーナル 坂上貴之 第37号 pp. 72-83
10. 中小規模自営層はどのようにラジオと接触しているか—聴くラジオと使うラジオ 単著 平成2年 日経広告研究所報 坂上貴之 133号 pp. 56-88
11. 行動観察における記録法と行動指標 単著 平成3年4月 哲学 坂上貴之 第92集 pp. 211-236
12. 形とふるまい—形を生成するシステムとその生成過程— 単著 平成4年9月 慶應義塾大学日吉紀要自然科学 Vol. 12 坂上貴之 pp. 19-55
13. 行動経済学からみた摂食行動 単著 平成4年 第36回プリマーテス研究会記録「食を考える—霊長類を中心に—」財団法人日本モンキーセンター年報(平成3年度) 坂上貴之 pp. 100-109
14. Effects of aging on elasticity in the fixed-ratio schedules in rats 単著 平成4年 H. Motoaki, J. Misumi, and B. Wilpert (Eds.), Social, educational and clinical psychology: Proceedings of the 22nd international congress of applied psychology Sakagami, T. pp. 294-295

15. 実験的行動分析の展開 ―“選択”, “認知”, “言語”をめぐって― 共著 平成6年4月 心理学研究 坂上貴之・山本淳一・実森正子 65巻5号 pp. 395-411
16. OECD諸国の奨学事業と日本の高等教育 単著 平成6年6月 大学と学生 坂上貴之 347号 pp. 33-38
17. 不確実性をめぐる動物行動研究 単著 平成6年 心理学評論 坂上貴之 37巻3号 pp. 294-323
18. 並立連鎖強化スケジュール下のラットの選択行動に及ぼすリスク経験の違いの効果 (課題番号06610086) 共著 平成8年4月 平成6～7年度科学研究費補助金 (一般研究 (C) 研究代表者) 成果報告書
19. 「高齢者の行動分析: 高齢者の生き方にスキナーを活かす」を読んで: 行動加齢学 (behavioral gerontology) のすすめ 単著 平成8年 行動分析学研究 坂上貴之 10巻1号 pp. 23-26
20. 手術前呼吸練習プログラムの開発とその効果の検討 共著 平成8年 行動分析学研究 鎌倉やよい・坂上貴之 9巻1号 pp. 2-13
21. ハトの「認知」テスト 単著 平成9年1月 遺伝 坂上貴之 51号 pp.30-34
22. 行動経済学と選択理論 単著 平成9年 行動分析学研究 坂上貴之 11巻1/2号 pp. 88-108
23. 高齢者の意思決定―選択からの逃避 共著 平成9年 心理学評論 増田真也・坂上貴之・広田すみれ 40巻4号 pp. 457-465
24. 不確実状況下のメタ選択についての動物行動研究 (課題番号08610094) 共著 平成10年4月 平成8～9年度科学研究費補助金 (一般研究 (C) 研究代表者) 成果報告書
25. 系列と連鎖: 小野浩一論文「行動連鎖―その獲得と遂行―」を読んで 単著 平成10年 心理学評論 坂上貴之 41巻4号 pp. 443-445
26. 行動の数理モデルとシミュレーション 共著 平成10年 慶應義塾大学大学院社会学研究科紀要 神谷直樹・坂上貴之 48号 pp. 1-22
27. 選択枝の多さは好まれるか 共著 平成10年 慶應義塾大学大学院社会学研究科紀要 坂上貴之・牧瀬隆之 47号 pp. 17-26
28. 強制選択場面と自由選択場面間の選択に及ぼす選択結果の不確実性の効果 共著 平成12年3月 基礎心理学研究 坂上貴之・牧瀬隆之 18巻2号 pp. 129-138
29. 選択行動における随伴性の動的な変容過程の研究 (課題番号10610083) 単著 平成12年4月 平成10～11年度科学研究費補助金 (基盤研究 (c) (2) 研究代表者) 成果報告書
30. ハトにおける変化抵抗と選好の関係―並立連鎖スケジュールによる検討― 共著 平成13年6月 心理学研究 井垣竹晴・坂上貴之 72巻2号 pp. 113-120
31. 強化子提示を待つ間の衝動性と自己制御 共著 平成13年9月 基礎心理学研究 石井拓・坂上貴之 20巻1号 pp. 49-50
32. 交流モータとセンサで作る低価格万能給餌器 共著 平成14年3月 行動分析学研究 井垣竹晴・望月要・坂上貴之 16巻1号 pp. 48-56
33. 行動分析学と経済学: 進化的枠組みの中での共同作業を目指して 単著 平成14年3月 行動分析学研究 坂上貴之 16巻2号 pp. 92-105
34. 行動経済学と変化抵抗 共著 平成14年3月 行動分析学研究 井垣竹晴・坂上貴之 16巻2号



pp. 141-153

35. ゲーム事態と選択行動研究 共著 平成14年3月 行動分析学研究 神谷直樹・坂上貴之 16巻2号 pp. 170-184
36. 選択の機会が曖昧性忌避に与える影響—異なる種類の曖昧性での検討— 共著 平成14年4月 心理学研究 増田真也・坂上貴之・広田すみれ 73巻1号 pp. 34-41
37. Effects of discriminative stimuli under concurrent fixed-interval and random-interval schedules 共著 平成14年 基礎心理学研究 石井拓・坂上貴之 Vol. 21, No1 pp. 37-38
38. Self-control and impulsiveness with asynchronous presentation of reinforcement schedules 共著 平成14年 Behavioural Processes Ishii, T. & Sakagami, T. Vol. 59, No1 pp. 25-35
39. 制御幻想とは何か? 共著 平成14年 心理学評論 増田真也・坂上貴之・広田すみれ 45巻2号 pp. 125-140
40. 変化抵抗をめぐる諸研究 共著 平成15年 心理学評論 井垣竹晴・坂上貴之 46巻2号 pp. 184-210
41. 書評: 久保田新他著「臨床行動心理学の基礎 医と心を考える—一人はなぜ心を求めるか—」 単著 平成15年 行動分析学研究 坂上貴之 18巻2号 pp. 131-137
42. Resistance to change in goldfish 共著 平成16年 Behavioural Processes Igaki, T. & Sakagami, T. Vol. 66, No2 pp. 139-152
43. 倫理的行動と対抗制御—行動倫理学の可能性 単著 平成16年 行動分析学研究 坂上貴之 19巻1号 pp. 5-17
44. 変動比率強化スケジュールと変動時隔強化スケジュールの間の反応遂行の違い 共著 平成17年 心理学評論 丹野貴行・坂上貴之 48巻2号 pp. 186-206
45. Commentary: What are simple heuristics for studying simple heuristics? 共著 平成17年 Behavioural Processes Hirota, S. & Sakagami, T. Vol. 69, No2 pp. 129-130
46. Reinforcement omission in concurrent fixed-interval and random-interval schedules 共著 平成19年 Behavioural Processes Ishii, T. & Sakagami, T. Vol. 74, No3 pp. 334-341
47. On loss aversion in capuchin monkeys 共著 平成20年 Journal of the Experimental Analysis of Behavior Silberberg, A., Roma, P. G., Huntsberry, M. E., Warren-Boulton, F. R., Sakagami, T., Ruggiero, A. M., & Suomi, S. J. Vol. 89, No2 pp. 145-155
48. On the primacy of molecular processes in determining response rates under variable-ratio and variable-interval schedules 共著 平成20年 Journal of the Experimental Analysis of Behavior Tanno, T., & Sakagami, T. Vol. 89, No1 pp. 5-14
49. “少数の法則”を補足する説明の妥当性の検討—生成過程の違いによる説明と結果予測の成否による説明— 共著 平成20年 慶應義塾大学大学院社会学研究科紀要 八賀洋介・森元良太・古賀聖人・坂上貴之 66号 pp. 55-68
50. Humans (*Homo sapiens*) fail to show inequity aversion in analogue of monkey inequity test. 共著 平成20年 Animal Cognition Hachiga, Y., Silberberg, A., Parker, S., & Sakagami, T. Vol. 12, No2 pp. 359-367
51. 確率モデルおよび空間統計学を用いた注視点の分析 共著 平成20年 基礎心理学研究 丹野

- 貴行・神谷直樹・坂上貴之 27巻1号 pp. 26-31
52. Single-sample discrimination of different schedules' reinforced interresponse times 共著 平成21年3月 Journal of the Experimental Analysis of Behavior Tanno, T., Silberberg, A., & Sakagami, T. Vol. 91, No2 pp. 157-167
53. A runs-test algorithm: Contingent reinforcement and response run structures 共著 平成22年 Journal of the Experimental Analysis of Behavior Hachiga, Y. & Sakagami, T. Vol. 93, No1 pp. 61-80
54. Concurrent VR VI schedules: Primacy of molar control of preference and molecular control of response rates 共著 平成22年 Learning & Behavior Tanno, T., Silberberg, A., & Sakagami, T. Vol. 38, No4 pp. 382-393
55. PRECEDE-PROCEEDモデルを用いた地域高齢者における口腔保健行動に関連する評価尺度の開発 共著 平成23年8月 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌 深田順子・鎌倉やよい・百瀬由美子・布谷麻耶・藤野あゆみ・横矢ゆかり・坂上貴之 15巻2号 pp. 199-208
56. 行動分析学における微視-巨視論争の整理-強化の原理, 分析レベル, 行動主義への分類- 共著 平成23年 行動分析学研究 丹野貴行・坂上貴之 25巻2号 pp. 109-126
57. ハトを用いたオペラント条件付けにおける信号のない強化遅延の効果の検討 共著 平成24年3月 行動分析学研究 小平英治・坂上貴之 26巻2号 pp. 102-117
58. 地域高齢者の口腔保健行動-PRECEDE-PROCEEDモデルを用いた類型化 共著 平成24年3月 身体教育医学研究 吹田麻耶・百瀬由美子・深田順子・森本紗磨美・横矢ゆかり・藤野あゆみ・坂上貴之・鎌倉やよい 11巻1号 pp. 27-35
59. Discrimination of variable schedules is controlled by interresponse times proximal to reinforcement 共著 平成24年 Journal of the Experimental Analysis of Behavior Tanno, T., Silberberg, A., & Sakagami, T. Vol. 98, No3 pp. 341-354
60. 地域高齢者における保健行動に関連した自己制御尺度の開発 共著 平成24年 日本看護科学会誌 深田順子・鎌倉やよい・坂上貴之・百瀬由美子・布谷麻耶・藤野あゆみ・横矢ゆかり 32巻3号 pp. 85-95
61. 強化スケジュール表記システムについての覚書. 単著 平成25年 哲学 坂上貴之 第130集 pp. 1-40
62. 評価的条件づけ過程における眼球運動の分析 共著 平成26年 思考と行動判断の研究拠点中間報告 森井真広・坂上貴之 pp. 3-13
63. 刺激随伴型の刺激除去が選好判断に与える効果の検討 共著 平成26年 平成25年度論理と感性の先端的教育研究拠点形成プログラム研究報告 森井真広・坂上貴之 pp. 95-102
64. 調査の回答における中間選択一原因, 影響とその対策- 共著 平成26年 心理学評論 増田真也・坂上貴之 57巻4号 pp. 472-494
65. 「看護すること (nursing)」を支援する学としての行動分析学: 随伴性のアレンジによる行動変容. 単著 平成26年 看護研究 坂上貴之 47巻6号 pp. 506-520
66. Preference pulses induced by reinforcement. 共著 平成26年 Journal of the Experimental Analysis of Behavior Hachiga, Y., Sakagami, T., & Silberberg, A. Vol. 102, No3 pp. 335-345

67. 画像刺激の選好評定に関するインターネット調査 共著 平成26年 思考と行動判断の研究拠点報告書別冊 森井真広・大久保重孝・坂上貴之・玉利祐樹 pp. 1-52
68. 視線を用いた選択行動におけるマッチングの法則の検討 共著 平成26年 思考と行動判断の研究拠点報告 森井真広・坂上貴之 pp. 91-103
69. The effect of gaze-contingent stimulus elimination on preference judgments 共著 平成27年 Frontiers in Psychology Morii, M., & Sakagami, T. Vol. 6, SEP. pp. 1351-
70. The copyist model and the shaping view of reinforcement 共著 平成27年 Behavioural Processes Tanno, T., Silberberg, A., & Sakagami, T. Vol. 114, No1 pp. 72-77
71. A further look at reinforcement rate and resurgence. 共著 平成27年 Mexican Journal of Behavior Analysis Fujimaki, S., Lattal, K. A., & Sakagami, T. Vol. 41, No2 pp. 116-136
72. Preference pulses and the win-stay, fix-and-sample model of choice. 共著 平成27年 Journal of the Experimental Analysis of Behavior Hachiga, Y., Sakagami, T., & Silberberg, A. Vol. 104, No3 pp. 274-295
73. 強化スケジュールによる行動の制御と解析—IRTの分析から見えるもの— 共著 平成27年 行動分析学研究 坂上貴之・丹野貴行 30巻1号 pp. 69-75
74. Experience that much work produces many reinforcers makes the sunk cost fallacy in pigeons 共著 平成28年3月 Frontiers in Psychology Fujimaki, S., & Sakagami, T. Vol. 7, NoMAR pp. 363-
75. The Other Shoe: An Early Operant Conditioning Chamber for Pigeons 共著 平成28年4月 Behavior Analyst Sakagami, T., & Lattal, K. A. Vol. 39, No1 pp. 25-39
76. 回答指示の非遵守と反応バイアスの関連 共著 平成28年 心理学研究 増田真也・坂上貴之・北岡和代・佐々木恵 87巻4号 pp. 354-363
77. 行動分析学は医療とどう向き合ってきたか: 行動分析学の基本原理 単著 平成28年 日本創傷・オストミー・失禁管理学会誌 坂上貴之 20巻4号 pp. 375-382
78. Respondents with low motivation tend to choose middle category: survey questions on happiness in Japan 共著 平成29年 Behaviormetrika Masuda, S., Sakagami, T., Kawabata, H., Kijima, N., & Hoshino, T. Vol. 44 pp. 593-605
79. How does response bias emerge in lengthy sequential preference judgments? 共著 平成29年 Behaviormetrika Morii, M., Sakagami, T., Masuda, S., Okubo, S., & Tamari, Y. Vol. 44 pp. 575-591
80. 多くの項目に回答することによる中間選択の増加. 共著 平成29年 行動計量学 増田真也・坂上貴之・北岡和代 44巻 pp. 117-128
81. Modeling bout-pause response patterns in variable-ratio and variable-interval schedules using hierarchical Bayesian methodology 共著 平成30年 Behavioural Processes Matsui, H., Yamada, K., Sakagami, T., & Tanno, T. Vol. 157 pp. 346-353

(学会発表)

1. デンショバトの自動的反応形成手続における刺激変化の効果について 共著 昭和52年7月 日

- 本動物心理学会第37回大会 坂上貴之・小川隆 国内会議
2. デンショバトにおける mult. FR1-LH-TO, PAM, NAM, EXT 共著 昭和52年7月 日本動物心理学会第37回大会 佐藤方哉・坂上貴之 国内会議
  3. デンショバトのCRF, PAM, NAMスケジュールにおける pecking force 共著 昭和53年7月 日本動物心理学会第38回大会 坂上貴之・佐藤方哉 国内会議
  4. ハトの自動的反応形成における反応性刺激変化の効果 共著 昭和53年10月 日本心理学会第42回大会 坂上貴之・小川隆 国内会議
  5. Three animal experiments. In Symposium: The experimental analysis in Japan 共著 昭和56年5月 The 7th Annual Convention of Association for Behavior Analysis Sakagami, T., Sato, M., & Mochizuki, A. 国際会議
  6. A brief history and future perspectives. In Symposium: The experimental analysis in Japan 共著 昭和56年5月 The 7th Annual Convention of Association for Behavior Analysis Sato, M., Mochizuki, A., & Sakagami, T. 国際会議
  7. FI schedule in humans. In Symposium: The experimental analysis in Japan 共著 昭和56年5月 The 7th Annual Convention of Association for Behavior Analysis Mochizuki, A., Sakagami, T., & Sato, M. 国際会議
  8. マイクロコンピューターによる行動実験用オンラインシステム—1.リアルタイムマルチジョブモニター 共著 昭和56年9月 日本心理学会第45回大会 久保田新・坂上貴之・堀耕司・田中毅 国内会議
  9. マイクロコンピューターによる行動実験用オンラインシステム—1.プログラム言語 共著 昭和56年9月 日本心理学会第45回大会 坂上貴之・久保田新・堀耕司・田中毅 国内会議
  10. 食餌利用可能時間と固定比率スケジュールのハトのキイツつき反応に及ぼす効果 単著 昭和56年11月 日本基礎心理学会第2回大会 坂上貴之 国内会議
  11. 固定比率スケジュール下のハトのキイツつき反応パターンに及ぼす食餌利用可能時間の効果 単著 昭和57年4月 日本基礎心理学会第3回大会 坂上貴之 国内会議
  12. 固定時隔 (FI) スケジュール下のハトのキイツつき反応に及ぼす食餌利用可能時間と時隔の効果 単著 昭和60年5月 日本基礎心理学会第4回大会 坂上貴之 国内会議
  13. ハトのキイツつき行動に及ぼすセッション時間の効果 単著 昭和61年5月 日本基礎心理学会第5回大会 坂上貴之 国内会議
  14. ハトにおける反応率依存型スケジュールの研究I 共著 昭和61年10月 日本心理学会第50回大会 望月要・坂上貴之・佐藤方哉 国内会議
  15. 変動時間強化スケジュールによる反応非依存的給餌がハトのキイツつき行動に及ぼす効果について 単著 昭和62年5月 日本基礎心理学会第6回大会) 坂上貴之 国内会議
  16. A behavior analysis of 'intelligent' behavior 共著 昭和63年 The 14th Annual Convention of Association for Behavior Analysis Sato, M., Sakagami, T., & Sugiyama, N. 国際会議
  17. 実験的行動分析におけるミクロ経済学理論の導入 単著 平成元年11月 日本基礎心理学会フォーラム「基礎心理学の新しい理論と道具を語る」 坂上貴之 国内会議
  18. ラットのオペラント行動の加齢差をめぐる行動経済学的分析 単著 平成2年4月 日本基礎心

理学会第9回大会 坂上貴之 国内会議

19. The effects of aging on the elasticity in the fixed ratio schedule in rats 単著 平成2年 The 22nd International Congress of Applied Psychology Sakagami, T. 国際会議
20. 「強化理論をめぐる基礎と臨床」シンポジウム 単著 平成3年3月 異常行動研究会第30回大会 坂上貴之 国内会議
21. ラットにおける体重変化とレバー押し反応の関係 共著 平成3年7月 日本基礎心理学会第10回大会 坂上貴之・蒲生裕司 国内会議
22. 行動経済学からみた摂食行動 単著 平成3年12月 「食を考える—霊長類を中心に— 2. 食の基礎としての生理学・栄養学・心理学」第36回プリマーテス研究会 坂上貴之 国内会議
23. ラットにおける固定比率強化スケジュール下の弾力性に及ぼす加齢効果 単著 平成4年7月 日本動物心理学会第52回大会 坂上貴之 国内会議
24. 「モデル!？」壇上討議企画・司会者 単著 平成4年7月 日本動物心理学会第52回大会 坂上貴之 国内会議
25. 食餌制限がもたらすラットにおける摂食行動と体重変化の関係について 単著 平成4年9月 日本心理学会第56回大会 坂上貴之 国内会議
26. 固定比率強化スケジュール下のラットのレバー押し行動の解析—反応間時間を中心として— 単著 平成5年7月 日本動物心理学会第53回大会 坂上貴之 国内会議
27. ラットにおける定比率から定間隔スケジュールへの移行に見られる行動の時間的構造の変容 単著 平成6年8月 日本動物心理学会第54回大会 坂上貴之 国内会議
28. 強化比率調整法を用いたハトのリスク選択行動の研究 単著 平成6年10月 日本心理学会第58回大会 坂上貴之 国内会議
29. 手術前呼吸練習の行動促進プログラム 共著 平成6年10月 日本行動分析学会第12回大会 鎌倉やよい・坂上貴之 国内会議
30. オペラント行動の分析からみた強化 単著 平成6年12月 日本認知科学会1994年度冬のシンポジウム「なぜ今『強化学習』なのか」 坂上貴之 国内会議
31. 「不確実状況における選択行動の諸問題」シンポジウム指定討論者 単著 平成7年6月 日本行動分析学会第13回大会 坂上貴之 国内会議
32. 離散試行型並立連鎖スケジュールを用いた不確実状況下でのラットの選択行動 共著 平成7年8月 日本動物心理学会第55回大会 坂上貴之・笠原朋子 国内会議
33. 「キンギョのオペラント条件づけ」(講演者: 藤健一) 講演討論会1指定討論者 単著 平成7年8月 日本動物心理学会第55回大会 坂上貴之 国内会議
34. 不確実状況における複数回選択の効果 (2) 加齢との関連 共著 平成7年10月 日本心理学会第59回大会 増田真也・坂上貴之・井上すみれ・鎌倉やよい 国内会議
35. 不確実状況における複数回選択の効果 (1) 手続きとの関連 共著 平成7年10月 日本心理学会第59回大会 井上すみれ・坂上貴之・増田真也 国内会議
36. 不確実状況でのラットの選択行動に与える結果の分割の効果 共著 平成8年4月 日本動物心理学会第56回大会 牧瀬隆之・坂上貴之 国内会議
37. 不確実状況における「メタ」選択 —選択を選択する— 共著 平成8年9月 日本心理学会第

- 60回大会 坂上貴之・井上すみれ・増田真也 国内会議
38. 不確実状況における複数回選択の効果 (3) 実験による個体内データの検討 共著 平成8年9月 日本心理学会第60回大会 井上すみれ・坂上貴之 国内会議
39. ハトを用いた行動モメンタムに関する実験 共著 平成8年9月 日本心理学会第60回大会 井垣竹晴・坂上貴之 国内会議
40. 「学習と文脈」シンポジウム指定討論者 単著 平成8年9月 日本心理学会第60回大会 坂上貴之 国内会議
41. 動物行動研究と行動経済学 単著 平成8年9月 日本心理学会第60回大会シンポジウム「心理学と経済学の間」坂上貴之 国内会議
42. 「心理学と経済学の間」シンポジウム企画者・司会者 単著 平成8年9月 日本心理学会第60回大会 坂上貴之 国内会議
43. Behavioral momentum in pigeons: Resistance to change in terms of response variability within sessions 共著 平成8年10月 The 3rd International Congress on Behaviorism and the Sciences of Behavior Igaki, T., & Sakagami, T. 国際会議
44. Procedural differences between human and nonhuman choice experiments 単著 平成8年10月 In Symposium: Determinants of self-control and choice. Presented at the 3rd International Congress on Behaviorism and the Sciences of Behavior Sakagami, T. 国際会議
45. Choice between reliable and unreliable reinforcement alternatives: Effects of divided and undivided outcomes 共著 平成8年10月 The 3rd International Congress on Behaviorism and the Sciences of Behavior Makise, T., & Sakagami, T. 国際会議
46. オペラント行動の数量的分析—行動経済学と行動ダイナミクス— 単著 平成9年3月 日本行動計量学会・日本認知科学会合同シンポジウム「心理・数理・生理的アプローチの競合と協調」坂上貴之 国内会議
47. ハトにおけるFR, FIでの反応率と強化率の係数に及ぼすセッション時間の効果 単著 平成9年4月 日本動物心理学会第57回大会 坂上貴之 国内会議
48. 並立連鎖スケジュールにおける変化抵抗と選好 共著 平成9年9月 日本心理学会第61回大会 井垣竹晴・坂上貴之 国内会議
49. ハトにおける自由・強制事態間の選好の検討 共著 平成9年9月 日本心理学会第61回大会 坂上貴之・高橋智幸 国内会議
50. 個人内データの分析による実験場面と質問紙法での選択行動の違いの検討 共著 平成9年9月 日本心理学会第61回大会 廣田すみれ・坂上貴之 国内会議
51. メタ選択と個別選択の独立性の検討 共著 平成9年9月 日本心理学会第61回大会 増田真也・坂上貴之・廣田すみれ 国内会議
52. 現代における認知主義的アプローチと行動主義的アプローチ 単著 平成9年9月 日本心理学会第61回大会シンポジウム「心理学における認知的アプローチと行動的アプローチ」坂上貴之 国内会議
53. 「心理学における認知的アプローチと行動的アプローチ」シンポジウム企画者(嶋崎恒雄氏と共に) 単著 平成9年9月 日本心理学会第61回大会 坂上貴之 国内会議

54. 看護学生の精神科実習記録に対するフィードバックの効果 共著 平成9年11月 日本行動分析学会第15回年次大会 山本勝則・煙山晶子・坂上貴之 国内会議
55. ヒトの少・多選択肢場面間の選択に与える課題手続きの影響 共著 平成9年11月 日本行動分析学会第15回年次大会 牧瀬隆之・坂上貴之 国内会議
56. ハトを用いた同時および継時選択場面における変化抵抗と選好 共著 平成10年8月 日本行動分析学会第16回年次大会 井垣竹晴・坂上貴之 国内会議
57. ゲーム理論からのアプローチ 単著 平成10年10月 「選択行動研究の多角的展開」 日本心理学会第62回大会シンポジウム 坂上貴之 国内会議
58. 報酬の質による選択行動の違いの実験的検討 共著 平成10年10月 日本心理学会第62回大会 廣田すみれ・坂上貴之・増田真也 国内会議
59. 期待値の散らばりの違いが選好に及ぼす効果 共著 平成10年10月 日本心理学会第62回大会 増田真也・坂上貴之・廣田すみれ 国内会議
60. 動物行動研究における数量的分析—強化スケジュールと数量的行動分析— 単著 平成10年10月 「心理学方法論の基礎にある数理と計量」 日本心理学会第62回大会シンポジウム 坂上貴之 国内会議
61. ゲーム・シミュレーション下のラットの選択行動 共著 平成10年10月 日本心理学会第62回大会 坂上貴之・嶺川武司 国内会議
62. 変化抵抗で見る反応保留型と反応非依存型スケジュール 共著 平成10年11月 日本基礎心理学会第17回大会 石井拓・坂上貴之 国内会議
63. 「知覚の柔軟さから見た人と動物」シンポジウム企画者 共著 平成10年11月 日本基礎心理学会第17回大会 実森正子・坂上貴之 国内会議
64. 予測ゲーム課題におけるラットの選択行動—予告刺激による制御の検討— 共著 平成11年7月 日本行動分析学会第17回大会 坂上貴之・児玉ゆう子 国内会議
65. 選択の自由が曖昧性忌避に与える影響 共著 平成11年9月 日本心理学会第63回大会 増田真也・坂上貴之・広田すみれ 国内会議
66. 自己制御場面におけるハトの選択—強化後遅延時間の刺激の効果— 単著 平成11年9月 日本心理学会第63回大会 坂上貴之 国内会議
67. 繰り返し選択事態における確実性効果 単著 平成11年9月 「セルフ・コントロール研究の現在と未来」 日本心理学会第63回大会シンポジウム 坂上貴之 国内会議
68. 選択経験と確実性効果 共著 平成11年10月 日本基礎心理学会第18回大会 石井拓・坂上貴之 国内会議
69. 「選択から選択へ」日本動物心理学会例会司会者 単著 平成12年1月 日本動物心理学会例会 「実験的行動分析における選択行動」 坂上貴之 国内会議
70. 心理学分野における学術論文の構成に見られる特徴：研究領域および刊行年から見た比較 共著 平成12年5月 2000年度日本図書館情報学会春季研究集会 倉田敬子・坂上貴之 国内会議
71. 予測ゲーム課題におけるラットの選択行動 —試行間隔の効果— 共著 平成12年6月 日本動物心理学会第60回大会 神谷直樹・坂上貴之 国内会議
72. Different choice behaviors under uncertainty between Japanese and Indonesian students 共著

- 平成12年7月 XXVII International Congress of Psychology Sakagami, T., & Hastjarjo, T. 国際会議
73. Temporal aspects of interactive behavior detected by utilizing sequential analyses 共著 平成12年7月 International Symposium “Behavior and Time” at University of Iceland Sakagami, T., & Teramono, T. 国際会議
74. 「基礎研究が解き明かす心のはたらき—実験心理学への誘い—」シンポジウム司会者 単著 平成12年9月 日本基礎心理学会公開シンポジウム 坂上貴之 国内会議
75. 並立スケジュールにおけるハトの変化抵抗 共著 平成12年9月 日本行動分析学会第18回年次大会 井垣竹晴・坂上貴之 国内会議
76. 混合方略を要するゲーム事態におけるヒトの選択行動—予告刺激の効果をめぐって— 共著 平成12年9月 日本行動分析学会第18回年次大会 上妻直博・坂上貴之 国内会議
77. 「医療現場における行動分析学」シンポジウム指定討論者 単著 平成12年9月 日本行動分析学会第18回年次大会 坂上貴之 国内会議
78. ハトにおける時隔および時間スケジュールの組み合わせによる強化遅延の効果の分離 共著 平成12年9月 日本行動分析学会第18回年次大会 小平英治・坂上貴之 国内会議
79. 個人内データによる継時的／共時的選択肢呈示効果の実験的分析(2) 共著 平成12年11月 日本心理学会第64回大会 広田すみれ・坂上貴之・増田真也 国内会議
80. 「セルフコントロールの基礎と臨床」ワークショップ指定討論者 単著 平成12年11月 日本心理学会第64回大会 坂上貴之 国内会議
81. 「行動的決定理論—プロスペクト理論の批判的展開」ワークショップ指定討論者 単著 平成12年11月 日本心理学会第64回大会 坂上貴之 国内会議
82. 曖昧さの異なる選択場面間の選好に関する研究 共著 平成12年11月 日本心理学会第64回大会 増田真也・坂上貴之・広田すみれ 国内会議
83. 論文構成要素の計測から見た行動的および認知的アプローチの特性 共著 平成12年11月 日本心理学会第64回大会 坂上貴之・倉田敬子 国内会議
84. 心理学と経済学：実験科学のもう1つの道 単著 平成12年12月 日本基礎心理学会第19回大会シンポジウム「基礎心理学の応用性：新たな連携に向けて」坂上貴之 国内会議
85. 強化子呈示を待つ間の衝動性と自己制御 共著 平成12年12月 日本基礎心理学会第19回大会 石井拓・坂上貴之 国内会議
86. Human operant conditioning for casual relationship learning 共著 平成13年5月 The 27th Annual Convention of Association for Behavior Analysis Washio, Y., Sakagami, T., & Ishii, T. 国際会議
87. Waiting for a larger reinforcer 共著 平成13年5月 The 27th Annual Convention of Association for Behavior Analysis Ishii, T., & Sakagami, T. 国際会議
88. 行動経済学と実験経済学 単著 平成13年8月 第5回実験経済学コンファレンス(北海道・はこだて未来大学) 坂上貴之 国内会議
89. ラットのピーク時隔における同時計時行動 共著 平成13年8月 日本行動分析学会第19回年次大会 坂上貴之・金井彩 国内会議



90. 「行動分析学の点検：強化と強化スケジュール」シンポジウム司会者 単著 平成13年8月 日本行動分析学会第19回年次大会 坂上貴之 国内会議
91. キンギョの変化抵抗 共著 平成13年9月 日本基礎心理学会第20回大会 井垣竹晴・坂上貴之 国内会議
92. 得失点の大きさが確実性効果に及ぼす影響 共著 平成13年9月 日本基礎心理学会第20回大会 坂上貴之・石井拓 国内会議
93. 並立FIRIスケジュールにおける弁別刺激変化の効果 共著 平成13年9月 日本動物心理学会第61回大会 石井拓・坂上貴之 国内会議
94. フィンドレイ型並立スケジュールにおけるハトの変化抵抗 共著 平成13年9月 日本動物心理学会第61回大会 井垣竹晴・坂上貴之 国内会議
95. 異なる条件性強化子の強化の提示予告度・提示割合がハトの選択に及ぼす効果 共著 平成13年9月 日本基礎心理学会第20回大会 東島仁・坂上貴之 国内会議
96. 多次元尺度構成法による曖昧さの異なる選択場面間の選好構造 共著 平成13年11月 日本心理学会第65回大会 広田すみれ・増田真也・坂上貴之 国内会議
97. 変動時隔スケジュールを用いた封鎖経済における所得操作の効果 共著 平成13年11月 日本心理学会第65回大会 大森茂樹・坂上貴之 国内会議
98. 異なる学術専門雑誌における論文構成要素の比較：行動的アプローチでの研究成果報告の特性 共著 平成13年11月 日本心理学会第65回大会 坂上貴之・倉田敬子 国内会議
99. Reinforcement Omission in Concurrent Fixed-Interval and Random-Interval Schedules 共著 平成14年5月 The 28th Annual Convention of Association for Behavior Analysis Ishii, T., & Sakagami, T. 国際会議
100. Resistance to Change in Concurrent Schedules 共著 平成14年5月 The 28th Annual Convention of Association for Behavior Analysis Igaki, T., & Sakagami, T. 国際会議
101. 曖昧さの2次確率分布の形状と平均値が選好に及ぼす効果 共著 平成14年9月 日本心理学会第66回大会 増田真也・広田すみれ・坂上貴之 国内会議
102. 被験体内および被験体間比較におけるキンギョの消去抵抗の検討 共著 平成14年9月 日本基礎心理学会第21回大会 井垣竹晴・坂上貴之 国内会議
103. 曖昧さの異なる選択場面への選好における個人差の分析 共著 平成14年9月 日本心理学会第66回大会 (広島・広島大学) 広田すみれ・増田真也・坂上貴之 国内会議
104. ラットにおける反応間時間の変動性—強化勾配導入の効果 共著 平成14年9月 日本心理学会第66回大会 井上剛・坂上貴之 国内会議
105. 多元スケジュールにおけるキンギョの逆部分強化効果の検討 共著 平成14年9月 日本動物心理学会第62回大会 井垣竹晴・坂上貴之 国内会議
106. 遅延を用いたゲーム事態におけるラットの選択行動 共著 平成14年9月 日本心理学会第66回大会 黒澤尚子・坂上貴之 国内会議
107. 選択場面における強化間間隔と強化後休止の関係 共著 平成14年9月 日本基礎心理学会第21回大会 石井拓・坂上貴之 国内会議
108. リズム性行動に及ぼす刺激間隔の閾付近での揺動の効果 共著 平成14年9月 日本基礎心理学

- 会第21回大会 大森貴秀・坂上貴之 国内会議
109. 信号検出理論によるハトの遅延見本あわせにおける試行間間隔の効果の検討 共著 平成14年9月 日本基礎心理学会第21回大会 小平英治・坂上貴之 国内会議
110. 科学論文の構成要素の変容とその要因：実験心理学系論文を対象とした年代，分野，雑誌編集方針の検討 共著 平成14年11月 科学技術社会論学会第1回年次研究大会 倉田敬子・坂上貴之 国内会議
111. Separating stimulus-reinforcer contingency from response-reinforcer contingency in temporal control of behavior 共著 平成15年5月 The 29th Annual Convention of Association for Behavior Analysis Ishii, T., & Sakagami, T. 国際会議
112. 提示された確率情報の違いが曖昧性選好に及ぼす効果 共著 平成15年9月 日本心理学会第67回大会 増田真也・広田すみれ・坂上貴之 国内会議
113. 行動単位と消去抵抗 共著 平成15年9月 日本心理学会第67回大会 八賀洋介・坂上貴之 国内会議
114. 並立連鎖FR-PRを用いた枯渇場面におけるラットの選択行動 共著 平成15年9月 日本心理学会第67回大会 長谷川博信・坂上貴之 国内会議
115. 曖昧性選好に及ぼす分布の粗密の効果 共著 平成15年9月 日本心理学会第67回大会 広田すみれ・増田真也・坂上貴之 国内会議
116. 雑誌発行主体の相違がもたらす論文構成要素の特性—行動的および認知的アプローチの場合— 共著 平成15年9月 日本心理学会第67回大会 坂上貴之・倉田敬子 国内会議
117. 律動反応の安定産出におよぼす手がかり音の反応独立型・依存型提示の効果 共著 平成15年11月 日本基礎心理学会第22回大会 大森貴秀・坂上貴之 国内会議
118. 逆転学習手続きにおける強化遅延の計時 共著 平成15年11月 日本基礎心理学会第22回大会 石井拓・坂上貴之 国内会議
119. 変動時隔強化スケジュールと変動比率強化スケジュールにおける反応データへの点過程解析法の適用（ラット） 共著 平成15年11月 日本基礎心理学会第22回大会 丹野貴行・坂上貴之 国内会議
120. ハトにおける成分の切り替えが変化抵抗に及ぼす効果 共著 平成15年11月 日本動物心理学会第63回大会 井垣竹晴・坂上貴之 国内会議
121. "Prospective" Timing with a Reversal Learning Technique 共著 平成16年5月 The 30th Annual Convention of Association for Behavior Analysis Ishii, T., & Sakagami, T. 国際会議
122. Fine Analysis of Performance under Variable-interval and Variable-ratio Schedules of Reinforcement in Rat 共著 平成16年5月 The 30th Annual Convention of Association for Behavior Analysis Tanno, T., & Sakagami, T. 国際会議
123. A Yoked-chamber Comparison of Resistance to Change in Concurrent and Multiple Schedules 共著 平成16年5月 The 30th Annual Convention of Association for Behavior Analysis Iga-ki, T., & Sakagami, T. 国際会議
124. Eye movements in epitaph reading and the letter recognition strategy 共著 平成16年8月 The 28th International Congress of Psychology Kutsuki, R., Sakurai, J., Masuda, N., & Sakaga-

- mi, T. 国際会議
125. Within-subject reversed partial reinforcement effect in goldfish (*Carassius auratus*) 共著 平成16年8月 The 28th International Congress of Psychology Igaki, T., & Sakagami, T. 国際会議
  126. Anatomy of the feeling in video games; combination of factors makes extra attractiveness 共著 平成16年8月 The 28th International Congress of Psychology Omori, T., Sakagami, T., & Taketatsu, Y. 国際会議
  127. Effects of cue reliability on eye movements in visual search task 共著 平成16年8月 The 28th International Congress of Psychology Sakagami, T., Matsumoto R., & Ishii, T. 国際会議
  128. Behavioral versions of human decision making research 単著 平成16年8月 The 28th International Congress of Psychology Sakagami, T. 国際会議
  129. 3選択肢場面を用いたヒトの自己制御 共著 平成16年9月 日本行動分析学会第22回年次大会 坂上貴之・黒岩美帆 国内会議
  130. 競合分割パターンが選好に与える影響 共著 平成16年9月 日本心理学会第68回大会 広田すみれ・増田真也・坂上貴之 国内会議
  131. リスク性場面との比較の有無が曖昧性場面への選好に与える影響 共著 平成16年9月 日本心理学会第68回大会 増田真也・広田すみれ・坂上貴之 国内会議
  132. 条件性強化子によるラットのスケジュール誘導性水飲み行動 共著 平成16年9月 日本心理学会第68回大会 前田星平・坂上貴之 国内会議
  133. 変動比率及び変動時隔強化スケジュールにおける反応間隔強化理論の検討 共著 平成16年11月 日本基礎心理学会第23回大会 丹野貴行・坂上貴之 国内会議
  134. 並立FI RIスケジュールにおける強化省略効果—強化確率を統制した上での検討— 共著 平成16年11月 日本基礎心理学会第23回大会 石井拓・坂上貴之 国内会議
  135. 3種類の確実等価値導出法による確率割引関数の比較 共著 平成16年11月 日本基礎心理学会第23回大会 坂上貴之・片岡百合 国内会議
  136. The role of key location as a stimulus factor on resistance to change 共著 平成17年5月 The 28th Annual Conference of Society for the Quantitative Analysis of Behavior Igaki, T. & Sakagami, T. 国際会議
  137. Win-shift-lose-stay Choices between Delayed Reinforcers by Pigeons 共著 平成17年5月 The 31st Annual Convention of Association for Behavior Analysis Ishii, T., & Sakagami, T. 国際会議
  138. ギャンブル事態での選択行動に及ぼす強化確率の履歴効果 単著 平成17年7月 日本行動分析学会第23回大会 坂上貴之 国内会議
  139. VR・VI反応率差における反応-強化子相関理論の検討 共著 平成17年7月 日本行動分析学会第23回年次大会 丹野貴行・坂上貴之 国内会議
  140. “連検定”条件付けが生み出す変動性及びパターンの研究 共著 平成17年7月 日本行動分析学会第23回年次大会 八賀洋介・坂上貴之 国内会議
  141. 極めて小さい競合者の存在が競合分割パターンの評価に与える影響 共著 平成17年9月 日本

- 心理学会第69回大会 広田すみれ・増田真也・坂上貴之 国内会議
142. 「心理学研究とR」 単著 平成17年9月 日本心理学会第69回大会 坂上貴之 国内会議
143. BDMメカニズムによる曖昧性忌避の検証 共著 平成17年9月 日本心理学会第69回大会 増田真也・広田すみれ・坂上貴之 国内会議
144. The effect of switching on resistance to change 共著 平成17年11月 The 3rd international conference of Association for Behavior Analysis Igaki, T., & Sakagami, T. 国際会議
145. Psychophysics of prospective timing 共著 平成17年11月 The 3rd international conference of Association for Behavior Analysis Ishii, T. & Sakagami, T. 国際会議
146. 強化後間隔はゲームを魅力的なものにしているのか 共著 平成17年12月 日本基礎心理学会第24回大会 坂上貴之・大森貴秀・原田隆史 国内会議
147. 律動反応の産出におよぼす妨害音提示の効果 共著 平成17年12月 日本基礎心理学会第24回大会 大森貴秀・坂上貴之 国内会議
148. Behavioral approach to uncertainty 共著 平成17年12月 In Symposium: Reasoning and cognition (ReasoningCog05). Hachiga, Y., Tanno, T., & Sakagami, T. 国際会議
149. Stimulus Control of Resistance to Change 共著 平成18年5月 The 32th Annual Convention of Association for Behavior Analysis Igaki, T., & Sakagami, T. 国際会議
150. Pigeons' temporal tracking under concurrent cyclic-interval and random-interval schedules 共著 平成18年5月 The 32th Annual Convention of Association for Behavior Analysis Ishii, T., & Sakagami, T. 国際会議
151. Contingency differences between variable ratio and interval schedules of reinforcement shown by survival and time series analysis 共著 平成18年5月 The 32th Annual Convention of Association for Behavior Analysis Tanno T., & Sakagami, T. 国際会議
152. 強化後間隔によるビデオゲームの面白さの測定 共著 平成18年6月 基礎心理学会第25回大会 大森貴秀・原田隆史・坂上貴之 国内会議
153. 同一物間選択と眼球運動 共著 平成18年6月 日本基礎心理学会第25回大会 坂上貴之・神谷直樹 国内会議
154. スロットマシンにおけるニアミスの効果 共著 平成18年9月 日本行動分析学会第24回年次大会 坂上貴之・前田星平 国内会議
155. 行動倫理学の可能性 単著 平成18年11月 立命館大学人間科学研究所研究倫理連続研究会 坂上貴之 国内会議
156. 探索課題を用いた眼球運動の分化強化に関する予備的研究 共著 平成18年11月 日本心理学会第70回大会 神谷直樹・坂上貴之・増田直衛・大森貴秀 国内会議
157. 競合分割効果の発現要因に関する実験的検討 共著 平成18年11月 日本心理学会第70回大会 広田すみれ・増田真也・坂上貴之 国内会議
158. 曖昧な情報を含んだ系列に対する確率判断 共著 平成18年11月 日本心理学会第70回大会 増田真也・広田すみれ・坂上貴之 国内会議
159. 後期旧石器時代の石核データの計量分析-行動考古学の可能性- 共著 平成19年3月 日本情報考古学会第23回大会 矢島祐介・櫻井準也・坂上貴之 国内会議

160. Differential reinforcement of the eye traveling speed: A preliminary study 共著 平成19年5月 The 33rd Annual Convention of Association for Behavior Analysis. Otaki, S., Takeshita, H., Kamiya, N., & Sakagami, T. 国際会議
161. Examination of stimulus factors on resistance to change. 共著 平成19年5月 The 33rd Annual Convention of Association for Behavior Analysis Igaki, T., & Sakagami, T. 国際会議
162. Modeling response pattern under variable-ratio and variable-interval schedules of reinforcement 共著 平成19年5月 The 33rd Annual Convention of Association for Behavior Analysis Tanno, T. & Sakagami, T. 国際会議
163. Differential reinforcement of behavioral variability using runs test in rats 共著 平成19年5月 The 33rd Annual Convention of Association for Behavior Analysis Hachiga, Y., & Sakagami, T. 国際会議
164. Temporal tracking and choice in concurrent cyclic- sinusoidal-interval and random-interval schedules 共著 平成19年5月 The 33rd Annual Convention of Association for Behavior Analysis Ishii, T., & Sakagami, T. 国際会議
165. 連検定パーセントイル基準による分化強化効果の検討 共著 平成19年8月 日本行動分析学会第25回年次大会 八賀洋介・坂上貴之 国内会議
166. ハトにおける固定比率連鎖スケジュールでの強化後および比率前休止への強化子の大きさの効果 共著 平成19年8月 日本行動分析学会第25回年次大会 坂上貴之・宮岡麻耶 国内会議
167. Effects of the number of required responses on win-shift/ lose-stay performances in a concurrent-chains procedure 共著 平成19年8月 The 2007 international conference of Association for Behavior Analysis Ishii, T. & Sakagami, T. 国際会議
168. ワークショップ「思考と行動における言語の役割」における指定討論 単著 平成19年9月 日本心理学会第71回大会 坂上貴之 国内会議
169. 石井拓による小講演「計時と選択の統合的理解へ向かう理論的試みの現状と実験的検討」の司会 単著 平成19年9月 日本心理学会第71回大会 坂上貴之 国内会議
170. パチスロ機のゲーム状況刺激が反応潜時に及ぼす効果 共著 平成19年9月 日本心理学会第71回大会 原田隆史・大森貴秀・坂上貴之・山田浩史 国内会議
171. 競合分割効果のBDM法による測定 共著 平成19年9月 日本心理学会第71回大会 広田すみれ・増田真也・坂上貴之 国内会議
172. 事象が同時に多数呈示されたときの割合の判断 共著 平成19年9月 日本心理学会第71回大会 増田真也・広田すみれ・坂上貴之 国内会議
173. 並立VR VIスケジュールにおける最適化への感度の検討 共著 平成19年12月 日本基礎心理学会第26回大会 丹野貴行・坂上貴之 国内会議
174. 訓練時での選択肢の組み合わせがテスト時での選択行動に及ぼす効果 共著 平成19年12月 日本基礎心理学会第26回大会 坂上貴之・大丸徹也 国内会議
175. Differential reinforcement of behavioral variability by frequency-dependent selection of two interresponse times in rats 共著 平成20年5月 The 34th Annual Convention of Association for Behavior Analysis Hachiga, Y. & Sakagami, T. 国際会議

176. How to control epistemic uncertainty “fifty-fifty” 共著 平成20年7月 The XXIX International Congress of Psychology Masuda, S., Sakagami, T., & Hirota, S. 国際会議
177. 2つの離散反応間隔に対する低頻度分化強化. 共著 平成20年8月 日本行動分析学会第26回年次大会 八賀洋介・坂上貴之 国内会議
178. 多少選択課題を用いたハトの数的能力の検討 共著 平成20年8月 日本動物心理学会第68回大会 大瀧翔・石井拓・坂上貴之 国内会議
179. 強化IRTの長さにもとづくVRとVIの弁別 共著 平成20年8月 日本行動分析学会第26回年次大会 丹野貴行・坂上貴之 国内会議
180. 増田真也による小講演「曖昧性と制御幻想が選好に及ぼす影響」の司会 単著 平成20年9月 日本心理学会第72回大会 坂上貴之 国内会議
181. ラットにおける自由接近事態での反応パターンと相互依存型スケジュールがもたらす制約. 共著 平成20年9月 日本心理学会第72回大会 竹下遥・坂上貴之 国内会議
182. 多段階抽選ゲームでの確率設定と反応潜時 共著 平成20年9月 日本心理学会第72回大会 大森貴秀・原田隆史・坂上貴之 国内会議
183. 異なる反応型を用いた反応復活の分析 共著 平成20年9月 日本心理学会第72回大会 人見彩子・坂上貴之 国内会議
184. 回答形式の違いがリスクの評価に与える影響 共著 平成20年11月 日本社会心理学会第49回大会 増田真也・坂上貴之・広田すみれ 国内会議
185. 複数の無知性選択肢間でのヒトの選択行動 共著 平成20年12月 日本基礎心理学会第27回大会 坂上貴之・増田真也 国内会議
186. 系列依存性の情報量指標について 共著 平成21年7月 日本行動分析学会第27回年次大会 八賀洋介・坂上貴之 国内会議
187. 並立スケジュール下における反応率と強化率の相関性への感度の検討 共著 平成21年7月 日本行動分析学会27回年次大会 丹野貴行・坂上貴之 国内会議
188. Molecular temporal relationship between response and reinforcement on VR and VI schedules 共著 平成21年8月 The 6th Annual Conference of New Zealand Association for Behaviour Analysis Sakagami, T., & Tanno, T. 国際会議
189. 多段階抽選ゲームでの反応潜時におよぼすニアミスの効果 共著 平成21年8月 日本心理学会第73回大会 大森貴秀・原田隆史・坂上貴之 国内会議
190. 試行内対比効果の信頼性に対する検討 共著 平成21年8月 日本心理学会第73回大会 長島愛・坂上貴之・石井拓 国内会議
191. 医療・教育現場で真に役立つ自己制御尺度の開発と応用—自己制御的に口腔衛生を維持する看護プログラムの開発— 共著 平成21年8月 日本心理学会第73回大会 鎌倉やよい・深田順子・百瀬由美子・吹田麻耶・森本紗磨美・藤野あゆみ・大澤ゆかり・坂上貴之 国内会議
192. PRECEDE-PROCEEDモデルを用いた地域高齢者における口腔保健行動尺度の開発 共著 平成21年9月 日本老年看護学会第14回学術集会 深田順子・百瀬由美子・鎌倉やよい・吹田麻耶・森本紗磨美・藤野あゆみ・大澤ゆかり・坂上貴之 国内会議
193. 選択行動による選好形成過程の検討—アイカメラを用いて— 共著 平成21年9月 日本感性工

- 学会第11回日本感性工学会大会 板東香織・大久保重孝・井出野尚・坂上貴之・藤井聡・羽鳥剛史・丹野貴行・玉利祐樹・高橋尚也・竹村和久 国内会議
194. PRECEDE-PROCEED モデルを用いた地域高齢者における口腔保健行動の実態 共著 平成21年9月 第15回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会 深田順子・鎌倉やよい・百瀬由美子・吹田麻耶・森本紗磨美・藤野あゆみ・大澤ゆかり・坂上貴之 国内会議
195. アイカメラを用いた選好形成過程の検討—ミネラルウォーターの選択実験を用いて— 共著 平成21年11月 曖昧な気持ちに挑むワークショップ第14回Heart&Mind2009 板東香織・大久保重孝・井出野尚・坂上貴之・藤井聡・羽鳥剛史・丹野貴行・玉利祐樹・高橋尚也・竹村和久 国内会議
196. 人を対象とした心理学実験における研究倫理 単著 平成22年9月 愛知県立大学看護学部シンポジウム「看護研究における研究倫理の考え方」坂上貴之 国内会議
197. 医療教育現場で真に役立つ自己制御尺度の開発と応用 共著 平成22年9月 日本心理学会第74回大会 高橋雅治・伊藤正人・鎌倉やよい・青山謙二郎・佐伯大輔・平岡恭一・坂上貴之 国内会議
198. 誤反応後の種類ごとに結果を変えることで見本合わせ課題での弁別成績は向上するか? 共著 平成22年9月 日本心理学会第74回大会 長島愛・久保田寛子・石井拓・坂上貴之 国内会議
199. “少数の法則”の補足説明の妥当性に関する実験的検討. 共著 平成22年9月 日本心理学会第74回年次大会 八賀洋介・坂上貴之 国内会議
200. 倫理的随伴性もたらすもの: ヒトを対象とした心理学実験の研究倫理 単著 平成22年10月 日本行動分析学会第28回年次大会 坂上貴之 国内会議
201. 選択の自由さが選好に及ぼす影響. 共著 平成22年10月 日本行動分析学会第28回年次大会 丹野貴行・竹村和久・藤井聡・羽鳥剛司・井出野尚・大久保重孝・坂上貴之 国内会議
202. 多段階抽選ゲームでの反応時間に対する結果パターンの効果 共著 平成22年11月 日本基礎心理学会第29回大会 大森貴秀・原田隆史・坂上貴之 国内会議
203. 地域高齢者における保健行動に関連した自己制御尺度の妥当性と信頼性 共著 平成22年12月 日本看護科学学会第30回学術集会 深田順子・鎌倉やよい・百瀬由美子・吹田麻耶・熊澤友紀・横矢ゆかり・坂上貴之 国内会議
204. Experimental Analysis Honoring Masaya Sato's Life and Legacy (1932-2010) 共著 平成23年5月 The 37th Annual convention of Association for Behavior Analysis International Heward, W. L., Malott, R. W., Malott, M. E., Nakano, Y., Sakagami, T., & Sugiyama, N. 国際会議
205. Eye-Tracking Behavior and Centrality Preference in Multiple-Choice Test: A Preliminary Study 共著 平成23年5月 The 37th Annual convention of Association for Behavior Analysis International Sakagami, T. & Yamada, A. 国際会議
206. 同一価値の選択肢間の選択場面において訓練時の各刺激への滞在時間が将来の選択に及ぼす影響 共著 平成23年9月 日本心理学会第75回大会 長島愛・井垣竹晴・坂上貴之 国内会議
207. 医療教育現場で真に役立つ自己制御尺度の開発と応用 共著 平成23年9月 日本心理学会第75回大会 高橋雅治・伊藤正人・鎌倉やよい・青山謙二郎・佐伯大輔・平岡恭一・坂上貴之

## 国内会議

208. 多段階抽選ゲームでの反応時間に対する結果パターンの効果2 共著 平成23年12月 日本基礎心理学会第30回大会 大森貴秀・原田隆史・坂上貴之・白鳥和人 国内会議
209. 選択行動による選好形成過程の基礎的研究 共著 平成23年12月 第15回実験社会科学カンファレンス 井出野尚・林幹也・坂上貴之・藤井聡・大久保重孝・玉利祐樹・丹野貴行・羽鳥剛史・竹村和久 国内会議
210. 情報モニタリング法を用いた意思決定過程の分析 共著 平成23年12月 第15回実験社会科学カンファレンス 大久保重孝・高階勇人・阪上公一・馬場崇徳・井出野尚・坂上貴之・藤井聡・竹村和久 国内会議
211. 慢性腎臓病患者における保健行動に関連した自己制御尺度の妥当性と信頼性 共著 平成23年12月 日本看護科学学会第31回学術集会 深田順子・鎌倉やよい・日比野友子・坂上貴之・百瀬由美子・片岡笑美子・小森和子 国内会議
212. The Sunk Cost Effect as the Results of Behavioral Histories in Pigeons 共著 平成24年5月 The 38th Annual Convention of Association for Behavior Analysis International Fujimaki, S., & Sakagami, T. 国際会議
213. Eye Movement Patterns in Choice Behavior With Implicit Relational Assessment Procedure (IRAP): An Exploratory Study 共著 平成24年5月 The 38th Annual Convention of Association for Behavior Analysis International (ABAI) Morii, M., Omori M., Yamamoto, J., & Sakagami, T. 国際会議
214. Effects of category names and figures of the scale of choice responses in a web survey 共著 平成24年7月 XXX International Congress of Psychology Sakagami, T., & Masuda, S. 国際会議
215. Preference construction process by choice: Eye movement and preference analysis 共著 平成24年7月 XXX International Congress of Psychology K. Takemura, Y. Tamari, Sakagami, T., Ideno, T., Tanno, T., Hatori, T., Hayashi, M., Okubo, S., Fujii, S., & Garing, T. 国際会議
216. Choice and eye tracking behaviour 単著 平成24年7月 Symposium “Preferences and decision making” in XXX International Congress of Psychology Sakagami, T. 国際会議
217. 変動比率及び変動時隔強化スケジュール下での反応パターンのモデリング 共著 平成24年9月 日本行動分析学会30回年次大会 丹野貴行・坂上貴之 国内会議
218. 行動の履歴によるサンクコスト効果の検討 共著 平成24年9月 日本行動分析学会第30回年次大会 藤巻峻・坂上貴之 国内会議
219. 選好形成過程と眼球運動測定 共著 平成24年9月 日本心理学会第76回大会ワークショップWS117「意思決定研究における視線分析」 井出野尚・坂上貴之・藤井聡・大久保重孝・玉利祐樹・羽鳥剛司・竹村和久 国内会議
220. 知覚判断課題を用いた選好形成過程の検討 共著 平成24年9月 日本心理学会第76回大会 井出野尚・林幹也・坂上貴之・藤井聡・大久保重孝・玉利祐樹・羽鳥剛史・竹村和久 国内会議
221. 強化に近接した反応間時間に基づくスケジュールの弁別 共著 平成24年9月 日本心理学会第76回大会 丹野貴行・坂上貴之 国内会議



222. 地域高齢者に対する質問紙を用いた嚙下障害のスクリーニング評価 共著 平成24年9月 日本摂食・嚙下リハビリテーション学会第17回18回共催学術大会 深田順子・鎌倉やよい・熊澤友紀・坂上貴之・藤原奈佳子 国内会議
223. 地域高齢者の運動機能向上のための体操プログラムに関する運動負荷の検討 共著 平成24年9月 日本摂食・嚙下リハビリテーション学会第17回18回共催学術大会 鎌倉やよい・湯海鵬・石垣享・深田順子・坂上貴之 国内会議
224. 地域高齢者に対する摂食・嚙下障害スクリーニング方法の検討 共著 平成24年9月 日本摂食・嚙下リハビリテーション学会第17回18回共催学術大会 鎌倉やよい・深田順子・坂上貴之・藤原奈佳子・熊澤友紀 国内会議
225. ラットの変動比率スケジュール弁別訓練下での選好および余剰反応の生起パターンについて 共著 平成24年9月 日本心理学会第76回年次大会 八賀洋介・坂上貴之 国内会議
226. 強化確率の勾配を持つ固定長反応連 (FCN) スケジュールによる行動制御 共著 平成24年11月 日本基礎心理学会第31回大会 坂上貴之・作田一平・八賀洋介 国内会議
227. 反応が選好および非選好の形成過程に及ぼす効果 共著 平成24年12月 行動経済学会第6回大会・第16回実験社会科学カンファレンス・合同大会 竹村和久・井出野尚・林幹也・坂上貴之・藤井聡・大久保重孝・玉利祐樹・羽鳥剛司 国内会議
228. 選好形成過程に対する選択課題の影響—嫌いな対象の選択課題を用いて— 共著 平成25年1月 特定領域総括シンポジウム 井出野尚・林幹也・坂上貴之・藤井聡・大久保重孝・玉利祐樹・羽鳥剛史・竹村和久 国内会議
229. Research on the sunk cost effect in nonhuman animals 共著 平成25年2月 Asia-Pacific Meeting of the Economic Science Association Fujimaki, S., & Sakagami, T. 国際会議
230. 評価条件づけ過程における眼球運動の分析 共著 平成25年3月 慶應義塾大学「思考と行動判断」研究拠点ワークショップ「思考と行動判断に関するアイトラッカーを用いた研究手法」 森井真広・坂上貴之 国内会議
231. The effect of recency of reinforcement experience on resurgence 共著 平成25年5月 The 36th Annual Conference of Society for the Quantitative Analysis of Behavior Fujimaki S., & Sakagami, T. 国際会議
232. 意思決定以前の選択から考える 単著 平成25年6月 日本消費者行動研究学会シンポジウム「意思決定の科学と消費者行動研究」 坂上貴之 国内会議
233. 代替反応の変化抵抗が反応復活に与える影響 共著 平成25年7月 日本行動分析学会第31回年次大会 藤巻峻・坂上貴之 国内会議
234. もう1つの自己制御パラダイム: 連鎖スケジュール成分の入れ替えの効果 共著 平成25年7月 日本行動分析学会第31回年次大会 坂上貴之・楚良詩織 国内会議
235. ラットのスケジュール弁別訓練手続き下の強化子の機能の比較 共著 平成25年7月 日本行動分析学会第31回年次大会 八賀洋介・坂上貴之 国内会議
236. 地域高齢者の運動機能向上のための体操プログラムに関する運動負荷の検討 共著 平成25年9月 第19回日本摂食・嚙下リハビリテーション学会学術大会 鎌倉やよい・湯海鵬・石垣享・深田順子・坂上貴之 国内会議

237. 地域高齢者に対する摂食・嚥下障害スクリーニング方法の検討 共著 平成25年9月 第19回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会 鎌倉やよい・深田順子・坂上貴之・熊澤友紀 国内会議
238. 行動分析学からみたギャンブル行動: テトリスとスロットマシンのPRP解析から 単著 平成25年10月 アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会シンポジウム「シンポジウム5: 物質によらないアディクションを基礎研究の立場から考える」坂上貴之 国内会議
239. フライトナースのリスク回避志向性と援助規範意識に関する検討 共著 平成25年11月 第20回日本航空医療学会総会 高橋誠一・土屋守克・坂上貴之・猿谷倫史・小野裕美・中澤弘子・内藤ゆみえ・白井美登里・杉山聡・堤晴彦 国内会議
240. Resurgenceの強度は構成スケジュールによって異なるか?: 多元スケジュールと並立スケジュールを用いた比較 共著 平成25年12月 日本基礎心理学会第32回大会 藤巻峻・坂上貴之 国内会議
241. 多段階抽選ゲームでの反応時間に対する結果パターンの効果4 共著 平成25年12月 日本基礎心理学会第32回大会 大森貴秀・原田隆史・坂上貴之・三浦悠太 国内会議
242. シンポジウム「質問紙の科学: その可能性と展望」単著 平成26年1月 文科省科学研究費補助金によるシンポジウム「質問紙の科学: その可能性と展望」坂上貴之 国内会議
243. 代替反応の変化抵抗と反応復活. 共著 平成26年1月 日本基礎心理学会2014年度第2回フォーラム(第2部 ポスター発表) 藤巻峻・坂上貴之 国内会議
244. 強化スケジュールによる行動の制御と解析: IRTの分析から見えるもの 共著 平成26年3月 実験的行動分析京都セミナー「オペラント条件づけ研究のインストルメンテーション: 回顧と展望第4回 変動性を実現する: 強化スケジュール研究におけるタイマーとカウンター」坂上貴之・丹野貴行 国内会議
245. Choice behavior of humans in multi-stage gambles 共著 平成26年5月 The 40th Annual Convention of the Association for Behavior Analysis International 坂上貴之 国際会議
246. Alternative reinforcement rates and the magnitude of resurgence 共著 平成26年5月 The 40th Annual Convention of the Association for Behavior Analysis International Fujimaki S., & Sakagami, T. 国際会議
247. Contiguity and shaping view of reinforcement: The copyist model 共著 平成26年5月 The 37th Annual Symposium of Society for the Quantitative Analyses of Behavior Tanno, T., Silberberg A., & Sakagami, T. 国際会議
248. 選好パルスの説明としてのアーティファクトの妥当性の検討 共著 平成26年6月 日本行動分析学会第32回年次大会 八賀洋介・坂上貴之 国内会議
249. 確率的な多段階選択場面におけるラットの選択行動 共著 平成26年6月 日本行動分析学会第32回年次大会 時暁聰・坂上貴之 国内会議
250. 心理尺度における項目の配置の効果 共著 平成26年7月 日本社会心理学会第55回大会 増田真也・坂上貴之 国内会議
251. 注視ターゲット選択におけるマッチングの法則の検討 共著 平成26年9月 日本心理学会第78回大会 森井真広・坂上貴之 国内会議

252. 強化スケジュールを用いた待ち時間に関する検討 共著 平成26年9月 日本心理学会第78回大会 井出野尚・坂上貴之・森井真広・玉利祐樹・大久保重孝・竹村和久 国内会議
253. 反応の形成時期と消去時期が反応復活に及ぼす影響 共著 平成26年9月 日本心理学会第78回大会 藤巻峻・坂上貴之 国内会議
254. 基礎心理学の視点から 単著 平成26年9月 第30回産業・組織心理学会年次大会 坂上貴之 国内会議
255. 社会的判断：測定の問題と現象論（ワークショップ） 共著 平成26年9月 日本グループ・ダイナミクス学会第61回大会 竹村和久・坂上貴之・唐沢かおり・若山大樹・林幹也・羽鳥剛史 国内会議
256. 心理尺度における項目の位置と中間選択 共著 平成26年9月 日本行動計量学会第42回大会 増田真也・坂上貴之 国内会議
257. 新人フライトナースの現場活動でのウェアラブルカメラの有用性 共著 平成26年11月 第21回日本航空医療学会総会 高橋誠一・土屋守克・坂上貴之・猿谷倫史・中澤弘子・小野裕美・内藤ゆみえ・臼井美登里・高本勝博・杉山聡・堤晴彦 国内会議
258. 新人フライトナースの現場活動の教育に対するウェアラブルカメラの有用性の検討 共著 平成26年11月 第34回日本看護科学学会学術集会 高橋誠一・土屋守克・坂上貴之 国内会議
259. 特別講演II「行動の原理からみる看護環境のアレンジ」 単著 平成26年11月 第34回日本看護科学学会学術集会 坂上貴之 国内会議
260. 看護師の確率判断にもたらす枠組み効果の検討 共著 平成26年11月 第34回日本看護科学学会学術集会 土屋守克・高橋誠一・坂上貴之 国内会議
261. 多段階抽選ゲームでの反応時間に対する結果パターンの効果5 共著 平成26年12月 日本基礎心理学会第33回大会 大森貴秀・原田隆史・坂上貴之 国内会議
262. 単一セッション内でみる反応復活 共著 平成26年12月 日本基礎心理学会第33回大会 藤巻峻・坂上貴之 国内会議
263. 多数の画像刺激の系列的評価に及ぼす提示順序の効果 共著 平成26年12月 日本基礎心理学会第33回大会 坂上貴之・増田真也・森井真広・大久保重孝 国内会議
264. Probability of reinforcement and resurgence in a discrete-trial procedure 共著 平成27年5月 The 41st Annual Conference of the Society for Quantitative Analyses of Behavior Fujimaki, S., Goto, N., & Sakagami, T. 国際会議
265. The choice behavior of rats in multi-stage gambles using the lights as discriminative stimuli 共著 平成27年5月 The 41st Annual Conference of the Society for Quantitative Analyses of Behavior Shi, X., & Sakagami, T. 国際会議
266. 連鎖スケジュール成分の入れ替え効果の再検討 共著 平成27年8月 日本行動分析学会第33回大会 時暁聴・松永あずさ・坂上貴之 国内会議
267. 確率的な多段階場面におけるヒトの選択行動 共著 平成27年8月 第23回行動数理研究会 時暁聴・坂上貴之 国内会議
268. 回答指示の非遵守と反応バイアス、同一回答傾向の関連 共著 平成27年9月 日本行動計量学会第43回大会 増田真也・坂上貴之・北岡和代・佐々木恵 国内会議

269. 心理尺度の回答形式に関する検討 共著 平成27年9月 日本心理学会第79回大会 増田真也・坂上貴之 国内会議
270. On responses for an extinction alternative immediately after reinforcement delivery: Juxtaposition induction with strength account of reinforcement 共著 平成27年9月 The 8th International Conference of Association for Behavior Analysis Hachiga, Y., & Sakagami, T. 国際会議
271. Stability: Criterion, operant, or transient state? 単著 平成27年9月 Symposium of “The experimental analysis of change” at The 8th International Conference of Association for Behavior Analysis Sakagami, T. 国際会議
272. 行動分析学からの説明 単著 平成27年11月 日本社会心理学会第56回大会ワークショップ WS06「社会的行動の「説明」について考える」(竹村和久) 話題提供者 坂上貴之 国内会議
273. フライト未経験者の教育に対するウェアラブルカメラの有用性 共著 平成27年11月 第22回日本航空医療学会総会 高橋誠一・土屋守克・坂上貴之・猿谷倫史・中澤弘子・小野裕美・内藤ゆみえ・臼井美登里・高本勝博・杉山聡・堤晴彦 国内会議
274. 繰り返し回答がもたらす中間選択の増加と尺度の分割の効果 共著 平成27年11月 日本基礎心理学会第34回大会 坂上貴之 国内会議
275. 多段階抽選ゲームでの反応時間に対する結果パターンの効果6 共著 平成27年11月 日本基礎心理学会第34回大会 大森貴秀・原田隆史・坂上貴之 国内会議
276. 新人フライトナースの現場活動の教育に対するウェアラブルカメラの有用性の検討 共著 平成27年12月 第35回日本看護科学学会学術集会 高橋誠一・土屋守克・坂上貴之 国内会議
277. Reinforcement Rate and Resurgence in the Within-Session Procedure 共著 平成28年5月 The 42nd Annual Convention of the Association for Behavior Analysis International Fujimaki, S., & Sakagami, T. 国際会議
278. 特別教育講演「行動分析学は医療場面とどう向きあってきたか: 行動分析学の基本原理」 単著 平成28年6月 第25回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会 坂上貴之 国内会議
279. A parametric analysis of resurgence in a within-session procedure 共著 平成28年7月 The 31st International Congress of Psychology Fujimaki, S., & Sakagami, T. 国際会議
280. The procedural variations in the concurrent-chain schedules may affect stability 共著 平成28年7月 The 31st International Congress of Psychology Shi, Xiaoting & Sakagami, T. 国際会議
281. Preference pulses and Win-stay, fix-and-sample model of choice 共著 平成28年7月 The 31st International Congress of Psychology Hachiga, Y., SAKAGAMI, T., & Silberberg, A. 国際会議
282. The Effectiveness of Video Clip Developed for Introducing Basic Knowledge of Applied Behavior Analysis (ABA) to School Teachers. 共著 平成28年7月 Thailand National Conference on Psychology Mitachi, M., Okamura, S., Endo, Y., Haraguchi, I., & Sakagami, T. 国際会議
283. 日本人の幸福感は低いのか? 過度の中間選択の原因 共著 平成28年9月 日本行動計量学会第44回大会 増田真也・坂上貴之・川畑秀明・木島伸彦・星野崇宏 国内会議
284. 強化省略のNHPPとしての妥当性の実験的検討 共著 平成28年9月 日本行動分析学会第34

回年次大会 八賀洋介・坂上貴之 国内会議

285. 非合理的選択研究の展望—行動分析学と行動経済学をつなぐもの— 共著 平成28年9月 第24回行動数理研究会 井垣竹晴・Romanowich, P.・坂上貴之 国内会議
286. Current issues in irrational choice 共著 平成28年9月 International Conference on Experimental Methods in Economics Sakagami, T., Igaki, T., & Romanowich, P. 国際会議
287. 目的から逸脱した会議の評価に関する検討 共著 平成28年9月 日本社会心理学会第57回大会 井出野尚・坂上貴之・藤井聡・唐沢かおり・羽鳥剛・林幹也・高橋英彦・玉利祐樹・村上始・竹村和久 国内会議
288. 複数回答形式質問における非遵守者の回答の影響 共著 平成28年9月 日本社会心理学会第57回大会 増田真也・坂上貴之 国内会議
289. 多段階抽選ゲームでの反応時間に対する結果パターンの効果7 共著 平成28年10月 日本基礎心理学会第35回大会 大森貴秀・原田隆史・坂上貴之 国内会議
290. Optical Flowに基づく新たな活動量測定方法の開発 共著 平成28年12月 第36回日本看護科学学会学術集会 土屋守克・高橋誠一・伊藤幸太・荻原直道・坂上貴之 国内会議
291. 「基礎心理学は社会心理学に貢献できるか—社会心理学における実験の姿—」 共著 平成29年5月 日本基礎心理学会第1回フォーラム 坂上貴之(司会者として。竹村和久との共同企画) 国内会議
292. 視線から何がわかるのか?消費者行動研究における眼球運動データの利用 共著 平成29年5月 第54回消費者行動研究カンファレンス 森井真広・坂上貴之 国内会議
293. WEB調査における回答行動の検討: 回答者と質問形式の交互作用及び回答時間データの利用 共著 平成29年8月 日本行動計量学会第45回大会 坂上貴之(討論者として) 国内会議
294. 意思決定研究における眼球運動データの測定と分析 共著 平成29年8月 日本行動計量学会第45回大会 森井真広・井出野尚・坂上貴之・竹村和久・岡田光弘 国内会議
295. Classification and visualization of eye movement data in judgment and decision making studies 共著 平成29年8月 International Federation of Classification Societies (IFCS2017) Morii, M., Ideno, T., Sakagami, T., Takemura, K., & Okada, M. 国際会議
296. 非対称な選択肢への回答: 選択肢分割効果か中間選択か 共著 平成29年9月 日本行動計量学会第45回大会 増田真也・川畑秀明・坂上貴之 国内会議
297. Web調査における不良回答と回答時間 共著 平成29年9月 日本心理学会第81回大会 増田真也・坂上貴之・森井真広 国内会議
298. 結果の系列が意思決定に及ぼす影響 共著 平成29年9月 日本心理学会第81回大会 井出野尚・坂上貴之・森井真広・玉利祐樹・竹村和久 国内会議
299. 多段階抽選ゲームでの反応時間に対する結果パターンの効果8 共著 平成29年12月 日本基礎心理学会第36回大会 大森貴秀・原田隆史・坂上貴之 国内会議
300. Web調査におけるボタン配置が回答行動に及ぼす影響 共著 平成29年12月 日本基礎心理学会第36回大会 森井真広・坂上貴之・増田真也 国内会議
301. Web調査における特異的応答パターン 共著 平成29年12月 日本基礎心理学会第36回大会 増田真也・坂上貴之・森井真広 国内会議

302. フライトナースの現場活動における会話行動の変化—ウェアラブルカメラによる会話行動の分析から— 共著 平成29年12月 第37回日本看護科学学会学術集会 高橋誠一・土屋守克・坂上貴之 国内会議
303. Optical Flowを用いた活動量の測定—ベッドメイキングにおける熟達者と初心者の比較— 共著 平成29年12月 第37回日本看護科学学会学術集会 土屋守克・高橋誠一・藤田文子・伊藤幸太・荻原直道・坂上貴之 国内会議
304. フライトナースの現場活動における会話行動の変化—ウェアラブルカメラによる会話行動の分析から— 共著 平成30年3月 第4回医療行動分析学研究会 高橋誠一・土屋守克・坂上貴之 国内会議
305. Resurgence, behavioral variability, and probability of reinforcement in humans 共著 平成30年5月 44th Annual Convention of Association for Behavior Analysis International Fujimaki, S., & Sakagami, T. 国際会議
306. 高反応率区間への強化はその選択を増加させる 共著 平成30年8月 日本行動分析学会第36回年次大会 松元拓也・坂上貴之 国内会議
307. Web調査における回答完遂者と途中脱落者, 及び他の調査の回答者との重複に関する検討 共著 平成30年9月 日本行動計量学会第46回大会 増田真也・坂上貴之・森井真広 国内会議
308. 一対比較を用いた選好判断における刺激特性の影響: 選択結果と眼球運動データによる検討 共著 平成30年9月 日本行動計量学会第46回大会 森井真広・坂上貴之・増田真也 国内会議
309. (特別セッション: Web調査導入に伴う発想の転換) 最小限化から見た中間選択とDon't Know選択の違い—継時的判断や回答時間での検討 共著 平成30年9月 日本行動計量学会第46回大会 増田真也・坂上貴之・森井真広 国内会議
310. 強化学習に基づくバウト構造のシミュレーション 共著 平成30年9月 日本心理学会第82回大会 山田航太・兼村厚範・坂上貴之 国内会議
311. 日本人の幸福感は低いのか: フィルター質問とDon't Know選択肢による分析 共著 平成30年9月 日本心理学会第82回大会 増田真也・坂上貴之・森井真広 国内会議
312. 動物の反応のバウト/休止パターンに関する時系列モデリング 共著 平成30年9月 日本心理学会第82回大会 松井大・山田航太・坂上貴之・丹野貴行 国内会議
313. 日本心理学会企画シンポジウム「公認心理師・心理学研究者の潜在的フィールド—広がる活躍の場と求められる七記・技術—」指定討論者として 単著 平成30年9月 日本心理学会第82回大会 坂上貴之 国内会議
314. Visual Analog Scaleを用いたWEB調査における回答バイアスの分析 共著 平成30年9月 日本心理学会第82回大会 森井真広・坂上貴之・増田真也 国内会議
315. 公募シンポジウム「不合理な意思決定—記述と処方—」指定討論者として 単著 平成30年9月 日本心理学会第82回大会 坂上貴之 国内会議
316. 日本心理学会企画シンポジウム「Webを利用した調査・実験研究をめぐって」企画代表者として 単著 平成30年9月 日本心理学会第82回大会 坂上貴之 国内会議
317. リカート型と異なるデザインの回答形式が持つ効果 共著 平成30年12月 日本基礎心理学会第37回大会 坂上貴之・森井真広・増田真也 国内会議

318. 幸福度調査への回答行動における眼球運動データの分析 共著 平成30年12月 日本基礎心理学会第37回大会 森井真広・坂上貴之・増田真也 国内会議
319. ゲーム遂行場面での刺激特性と反応特徴の関係 共著 平成30年12月 日本基礎心理学会第37回大会 大森貴秀・原田隆史・坂上貴之 国内会議
320. 強化スケジュールのWEB実験プラットフォーム構築の試み 共著 平成30年12月 日本基礎心理学会第37回大会 藤巻峻・丹野貴行・井垣竹晴・坂上貴之 国内会議
321. ヒトを対象とした反応復活の制御要因の検討 共著 平成30年12月 日本基礎心理学会第37回大会 井垣竹晴・山岸直基・丹野貴行・藤巻峻・坂上貴之 国内会議
322. オプティカルフローを用いた活動量測定の有用性の検討—ベッドメイキングにおける熟達者と初心者の比較— 共著 平成30年12月 第38回日本看護科学学会学術集会 土屋守克・藤田文子・柳田徳美・高橋誠一・伊藤幸太・萩原直道・坂上貴之 国内会議
323. フライトナースの経験回数における発話行動の特徴 共著 平成30年12月 第38回日本看護科学学会 高橋誠一・土屋守克・坂上貴之 国内会議